

2017 年春季大会アンケート結果の報告

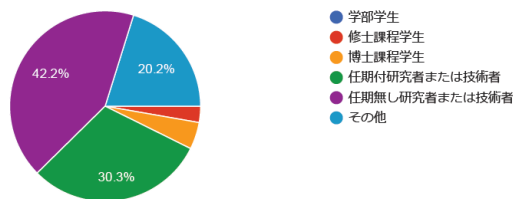
2017 年 10 月 24 日 日本気象学会 講演企画委員会

当委員会では、2017 年春季大会参加者を対象に Web サイトでのアンケートを実施しました。その結果を報告します。自由記述については、まとめの報告とさせていただきます。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

必須の選択式設問

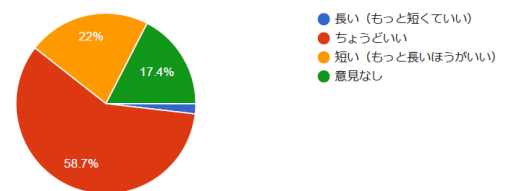
身分（必須）

109 件の回答



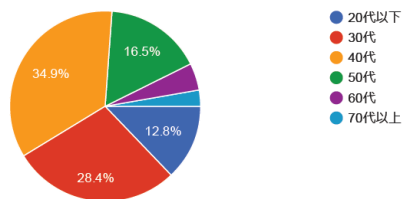
ポスター発表の時間

109 件の回答



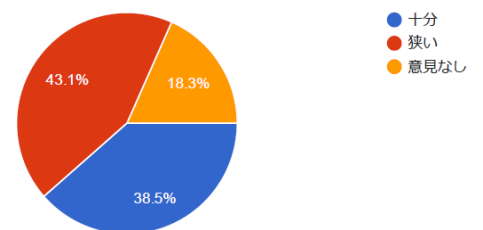
年齢（必須）

109 件の回答



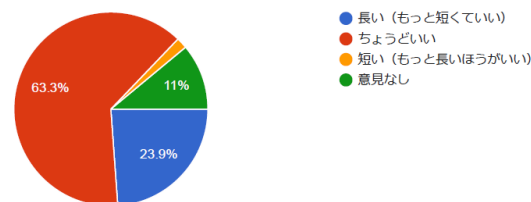
ポスター会場の広さ

109 件の回答



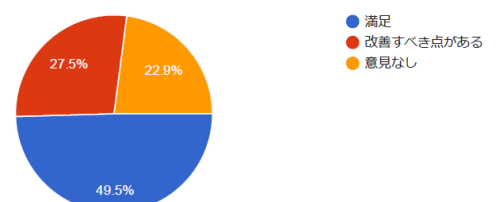
会期(4日間)

109 件の回答



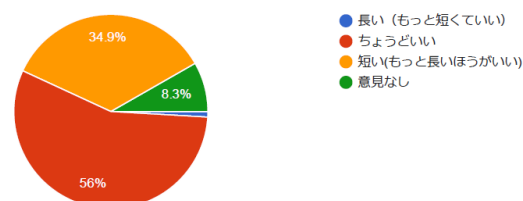
大会会場ならびに運営全般について

109 件の回答



口頭発表の一件当たりの時間

109 件の回答



自由記述欄に寄せられたご意見のまとめ

● 口頭発表時間の取り方について

一件あたり 15 分が望ましいという意見がかなり多い。最低でも 10 分、それより短いのは問題という意見も多い。時間確保の方策提案：

- * 会場を増やす
- * 件数を絞る
- * 時間割を見直す（中 2 日の午後の時間を短縮、など）
- * （ポスター会場についての意見より）もっとポスターに誘導する

短いがやむを得ないという意見も多い。その他は：

- * 現在のやり方が良い
 - * 午後のセッションは二分割する
- など。

● ポスター会場について

自由記述では狭いというコメントが多いが、十分だったというコメントも。その他は：

- * 見るスペースと通路スペースを分ける（広さにも関係する話。通行困難だったとのコメントが複数有）
- * 他の研究集会（例 JpGU など）に比して冷遇している印象
- * もっとポスターを増やして（魅力を増して）口頭発表が減るようにする
- * テーマ別に日程を分けてほしい
- * できれば会場は一つがいい
- * スペースは縦長より横長のほうが議論しやすい（一方で、幅は十分だったとの意見も複数有）
- * 長時間張っておけるといい
- * もっと時間を延ばすか、他のセッション中にも並行してできないか

● 大会会場・運営全般について

- * JpGU と連続開催に関する意見がいくつかあった（一体化が望ましい、部分的に JpGU に移し春季大会は縮小、会期を重ねないでほしい、連続開催はつらい）
 - * 土日開催については賛否両論の意見が寄せられた。
- そのほか様々な意見が寄せられた。

● 大会全般（今大会に限らず）について

特に多数の意見が寄せられた(45 件)。そのうち 14 件が JpGU について触れている（別項目である「大会会場・運営全般について」でも数件意見あり）。

- * JpGU との連続開催はつらいので何とかしてほしいという意見は多数。 対策案は、JpGU への統合・合流（9 件）、JpGU との連携（春季大会を 残しつつ一部は JpGU に移すなど。4 件）、JpGU と期間を離す（1 件）
- * JpGU との日程の重なりはなくすべきという意見も。

予稿集に関する意見：

- * 電子化を評価する声複数。
 - * 予稿集（電子ファイル等）を参加費に含めてほしい（その分値上げしてよい）など、電子化と絡んで現在の販売・料金体系の見直しを求める提案が複数。
 - * 土日開催については賛否あり（運動会ピークを外してほしいという意見も）。
- その他多数あり。

● セッションキーワードについて

（Q：一般口頭発表のセッションは、講演申込時に選択（または自由入力）していただいたキーワードをもとに編成しています。現在のキーワード一覧には、「再生可能エネルギー」等の新しいものはありません。また、「相互作用」等の分野を限定し難いものがあります。新しいキーワード一覧を作成するため、キーワードを3つまで自由記述でお書きください。）以下では、「特になし」など提案でないものは除いた。

「その他」で自由に記入ができてもいいのでは？

大会に関する意見の欄に意見を記載した。

成層圏・対流圏結合、極渦、放射気候

再生可能エネルギー、

熱帯降水 温暖化 学際研究

惑星大気、数値計算法

テレコネクション、雲放射フィードバック

社会実装、都市気象、エネルギー気象

“再生可能エネルギー 太陽光発電、風力発電”

情報利活用、データサイエンス、需要予測

“レーダー 降雪 観測”

偏波レーダー フェイズドアレイレーダー

大気放射、エアロゾル、雲

レーダー気象、観測システム・プロジェクト

減災 再生可能エネルギー 科学コミュニケーション

再生可能エネルギー 気象ビジネス

地球観測衛星、マイクロ波、降水特性

計算科学、可視化、季節予測

竜巻・突風

微細気象・数値手法

降雪 テレコネクション 機械学習

地球システム、科学コミュニケーション、惑星気象学

予測可能性、極端気象

セッション構成をみると毎回「中高緯度大気」セッションがやや寂しい。もとは副キーワードが乏しいからと想像されるが、結果として（寂しいセッションでの発表を避けるためのフィードバックが働いて）中高緯度大気にマッチしそうな発表でも、気候システムまたは降水システムに分かれて投稿されている。

キーワード分類も含めた再編が望ましい。主キーワードで対象無限定の「相互作用」廃止にも賛成。

「竜巻・トルネード・塵旋風」

気象情報・防災情報、都市気候・都市気象、地球温暖化

「気象百科」は今日では意味不明。わかりやすいものに改訂を。

竜巻、データ同化、防災

主：大気境界層，副：熱収支

気候システムに局地気候が2つあるので1つを都市気候にしたら？主キーワードに気象ビジネスを入れては？